

神奈川県がん・生殖医療ネットワーク KanaOF-netがスタートします

KanaOF-Netとは

神奈川県がん・生殖医療ネットワーク (Kanagawa Oncofertility Network)の略称です。

【設立の経緯】

がん治療の進歩により小児・AYA世代がん患者さんの生存率は著しく向上しています。その反面、手術療法、化学療法そして放射線治療などによって生殖機能が低下し、将来に自身の子供を望めなくなる事態が問題視されております。

この問題に対して神奈川県では、がん治療施設と生殖医療機関（横浜市大、聖マリアンナ医大）が個々に連携して精子、卵子、胚そして卵巣組織凍結などを実施して参りました。今回、県内のがん診療連携拠点病院などのがん治療医の先生方と、より迅速かつ円滑な連携の構築を志向して、さらに地域内でのスムーズながん・生殖医療の提供を目指して、個々の連携を神奈川県全体で進めるべく、神奈川県がん・生殖ネットワーク設立に到りました。

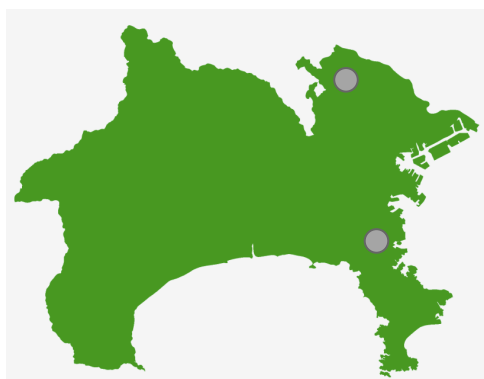
【設立の目的】

神奈川県内におけるがん治療と生殖医療に従事するヘルスケアプロバイダーが、互いに連携して小児・AYA世代のがん患者さんやその家族、またがんサバイバーに対して、妊孕性温存や妊娠・出産に関する正しい情報提供し、妊孕性温存療法（精子・卵子・胚・卵巣温存など）をスムーズに実施するためのネットワークを構築し、知識や情報の交換および医療の進歩に寄与することを目的としています。

【連携模式図】

小児・AYA世代のがん患者さんとその家族

- ✓ 妊孕性温存の意思確認
- ✓ 生殖医療施設の情報提供など



- ✓ 妊孕性温存療法の実施
- ✓ 妊娠・出産に関する情報提供など

治療内容や患者さんの情報の共有

がん治療施設
県内のがん拠点病院・指定病院の
治療医・支援センター

生殖医療施設
横浜市立大学市民総合医療センター
聖マリアンナ医大病院産婦人科

神奈川県がサポート致します！